

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 天心堂	代表者	理事長 志田知之	法人・ 事業所 の特徴	法人：医療機関の立場に立った「地域貢献」をモットーとしており、「一本の大きな木の様に」～地域に安心と豊かさを～を運営理念に掲げ、真の「地域密着型病院」を目指しております。 くすの木：ご利用者様の介護状態とご希望を踏まえて「通い」を中心として、「訪問」と「泊まり」を組み合わせた介護サービスの提供を行います。
事業所名	小規模多機能ホーム くすの木	管理者	首藤貴信		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	4人	6人	人	人	1人	人	1人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	面会制限がある中で、外部や地域の方に施設での活動が詳しくわかる様に情報を発信していく。	面会制限を少しずつ緩和し少しでも多くの方と利用者様が面会できるようになった。活動に関してもホームページで情報発信ができた。	スタッフが少ない中、対応されています。ご自身の体調にも十分に気をつけて利用者さんの対応をしてください。	地域行事への積極的参加と多世代の交流を深めていけるよう取り組みを行なっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節に応じた花を花壇に植え、地域の方との繋がりを増やしていき、交流の場を設けていきたい。	年に4回庭の花壇に季節にあった花を植えることができ、地域の方や病院の患者さんに見てもらえることができた。	季節ごとに花を植えられており、また施設の周辺も綺麗にされていると思います。	施設内外の環境整備を整え、利用者様が安心して過ごせる環境づくりを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	まだコロナが流行している中で利用者様が外に出て活動ができる状況ではないが、少しずつ外に出る機会を増やし、地域との交流を増やしていきたい。	春には花見、夏は法人の夏祭り、秋は法人の文化祭に参加でき地域との関わりができた。	コロナの流行もあり、なかなか施設との関わりが難しかったが、運営推進会議も対面となり、少しずつ施設との関わりを増やしていきたい。	多世代交流に向けて、くすの木でのイベントへの参加呼びかけを積極的にを行い地域との関わりを増やしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	面会を少しずつ緩和でき、利用者様が直接、家族や地域の方とお話する機会が作れたと思う。	面会制限を少しずつ緩和できた。少しずつ外出レクを行い、多くの利用者様に参加してもらうことができた。	慰問やボランティアの方が来られ、利用者さんも楽しまれているのがわかりました。地域でも施設の利用者を支えられるように協力していきたいです。	利用者様が地域行事や地域の方と交流し関わっていくことで、地域との繋がりが断たないようにしたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	2022年度は書面での報告となっていたが、少しでも早い段階で少人数での開催を目指し、顔を合わせて地域の方とお話ができる様にしていきたい。	2023年度は対面での会議が可能となり直接地域の方と話ができただけで、施設の活動内容を報告することができた。	色々な行事をされ、利用者さんも参加をされて楽しく過ごされているのが伝わってきます。	今年度より対面での開催となったが、感染状況を見て臨機応変に開催を行っていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	火災対応訓練では、消防署の方に参加してもらうことができた。少しずつ地域との交流が増える様に活動を行なっていく。	避難訓練の際には消防署の方だけでなく、消防団の方にも参加していただけるように計画をしていきたい。	施設の消防団も避難訓練に参加できるように協力をしていきたいと思っています。	運営推進会議に参加されている外部の方にも実際に参加してもらい避難訓練を行えるように計画をしていきたい。